令和８年度版

だれひとり取り残されない、やさしい子育て支援

経済的な負担や、子育ての不安に寄り添う制度があります

経済的なサポート

●多胎児育児支援
双子は 20 万円、三つ子は 30 万円を支給。また、双子、三つ子を育てるご家庭へ、家事や育児を支援するサポーターを派遣

●初回産科受診料の助成
要件を満たす住民税非課税世帯・生活保護世帯の妊婦に、初回産科受診料（上限１万円）を助成

●母子栄養食品の支給
要件を満たす住民税非課税世帯・所得税非課税世帯・生活保護世帯の妊産婦や乳幼児に、牛乳または粉ミルクを一定期間支給

●久納奨学基金奨学金
勉学の意欲があり、修学のための経済的支援が必要と認められる高等学校等の生徒を対象に、返済の必要のない奨学金（年額 12 万円）を支給

●子ども服・育児用品のリユース　　不要になったベビー服やベビーカー等を回収し、必要な家庭へ無料配布

子どもの成長と学びを支援

●ホームフレンド in いなざわ
学生などが、不登校や引きこもりに悩む子どもの話し相手となり、自立をサポート

●学習支援教室「ブリッジルーム」
教職経験者や教員志望の学生が、授業や宿題でわからないところをサポート
（名古屋文理大学文化フォーラム（市民会館）・平和らくらくプラザにて）

●子育て相談室「なのはな」
０歳から 18 歳までの子どもの発達・不登校・行動面など、子育てに関する相談にワンストップで対応

●児童発達支援センター「ひまわり」
就学前までのお子さんへの「児童発達支援」、18 歳までのお子さんへの「保育所等訪問支援」を実施。
発達が気になるお子さんや保護者の方が安心して通える場所です。身体に障がいがあるお子さんや、医療的ケアが必要なお子さんも利用可。障がい児相談を行う「サポートセンターひまわり」も併設

●病児・病後児保育施設「いなぴあ」
病気または病気の回復期にあり、集団保育などが困難な児童を一時的に預かり、保護者の仕事などと育児の両立を支援

子育て・教育は稲沢で！

稲沢市は、妊娠から出産、子育て、教育まで、切れ目なくサポート。
名古屋駅まで電車で約 10 分という利便性に加え、安心して子育てができる環境を整えています

市ＰＲ動画
ヤバいなざわもみてネ！

ほかにもサポートもりだくさん！詳しくは『子育て支援ガイドブック』で！

令和８年４月発行　稲沢市総合政策部シティプロモーション課　0587-32-1125

ずっと安心！

いなざわで子育て

稲沢市の子育て支援はココがスゴイ！

嬉しいサポートが無料

1 子どもの医療費が無料！

高校生等（18 歳年度末）まで、入院も通院も無料。
さらに、大学生等（22 歳年度末までの被扶養者）の入院も無料です！

2 保育園のおむつが無料！

園で使う紙おむつは市が提供。使用済みおむつの持ち帰りも不要です

3 第2子以降の保育料・給食費が無料！

第２子は所得制限つきで無料、第３子以降は完全無料です！
その他の園児は主食代相当分（900 円）を市が負担しています
※高校３年生から数えて２人目以降が対象

4 小・中学生の給食費が無料！

小学生も中学生も給食費“完全無料”。
食物アレルギーでお弁当持参の家庭にも同額補助しています

すくすく いなッピー　いなざわ子育て応援アプリ

子育て支援情報・イベント情報・施設マップ・子育てのヒントなど
子育てに関する情報を子育て支援アプリ「すくすくいなッピー」で提供。
お子さんの月齢に合わせた制度や予防接種のスケジュール表示など
便利な機能もあります

ずっと 稲沢市は子育てを応援！

～妊娠から出産・子育て・教育まで～
切れ目なく続く、嬉しいサポートがいっぱいです

1. 妊娠・出産期

不妊治療費の補助
一般不妊治療や生殖補助医療の自己負担分を助成（上限 25 万円）。43 歳以上の生殖補助医療も対象にしています

不育症治療費の補助
流産・死産を2回以上繰り返している方を対象に検査・治療にかかる費用を1回の治療につき上限 15 万円、3 回まで補助しています

おでかけタクシー
妊娠中～産後1年未満、タクシー利用料金を一部補助（要登録）。自宅から市内全域の移動が対象です

2. 産後

木のおもちゃプレゼント&ブックスタート
4カ月健診時に木のおもちゃをプレゼントするとともに、赤ちゃん向け絵本2冊をお渡ししています

産後ケア
医療機関等で宿泊型・日帰り型のケアを実施。産後4カ月未満のお母さんとそのお子さんが対象です

産婦配食サービス
産後1カ月未満の産婦を対象に配食サービス利用券（1食あたり 250 円）を 30 枚交付しています

3. 乳幼児期

おむつ用品購入補助
未就園児（0～2 歳）のいる家庭に、おむつ用品等の購入に使える月 2,000 円分の「いなPAY」ポイントを支給しています

親子交流の場「パパママ1年生！」
初めて「お父さん・お母さん」になったパパ・ママと 12 カ月までの赤ちゃんを対象とした交流の場の集い「パパママ1年生！」を開催。その他パパ向けの育児講座や親子クッキングなどさまざまな事業を行っています

あおぞらパーク
好きなことをして自由に遊べる催しを稲沢公園など市内公園で開催。青空の下、シャボン玉や水遊び、ボール遊びなどで楽しみます

保育グッズの応援
保育園で使用する教材（名札、自由画帳、クレパス、粘土、道具箱など）を無償化。民間保育園には園児1人あたり 2,000 円を上限に教材購入費用を補助

インクルーシブ保育
障害児等支援が必要な児童を公私立問わず市内保育園等全園で受け入れます。基準より多く保育士を配置し、環境全体で支援するインクルーシブ保育を実施しています

4. 小・中学校

セーフティプラスワン
低学年が6時間目まで学校で学習・活動し、高学年と一緒に下校することで安全性を高めています

鑑賞教育
市内の小学校6年生全員が荻須記念美術館を訪問。学芸員の解説により、稲沢市出身の洋画家　荻須高徳の生涯や作品等について学びます

放課後児童クラブ
小学校の夏季休業期間（夏休み）中に、お弁当注文サービスを行って保護者の負担を軽減
また、タブレット学習ができるよう全児童クラブに Wi-Fi を整備しています

充実した子育て支援施設

私立を含め、子育て支援センター5カ所、児童館・児童センター 11 カ所、認可保育施設 29 カ所、幼稚園4カ所など、さまざまな子育て支援施設が整っています。子育て支援センターでは、プレイルームなどの親子で自由に遊べる場所を提供したり、育児講座なども開催したりしています。また、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行うため、中央子育て支援センター内に「こども家庭センター」を設置しています

Instagram で子育て支援センターの紹介やイベントの情報などを発信しています！

保育園の取組

●子ども主体の丁寧な保育
子どもたちの「非認知能力」を育むため、子どもたち主体の保育を行い、子どもたちの「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちを尊重し支える環境を整えています。また、乳児保育では育児担当制を取り入れ保育士が一人一人丁寧に関わります。

●アプリでラクラク連絡
スマホアプリにより、登降園管理や保護者からの欠席連絡のほか、園からのお知らせを受け取れます

●保育園での一時保育
仕事や病気、求職もしくは、冠婚葬祭のほか、リフレッシュしたい場合にも、保育園で一時的に保育サービスを提供しています

各保育園の取組などはこちら▶